



～わたしがHappy あなたにHappy まちにもHappy 岩崎小～

学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/iwasaki>

TEL 331-5123 FAX 331-5343

令和8年6月30日
横浜市立岩崎小学校

7月号

岩崎小学校
WEBページ



台風6号の対応について

校長 島田恒弘

台風6号が襲来した6月3日、本校は前日に休校を判断しメール配信しました。これは、横浜市からの指示ではなく「学校長判断」によるものでした。横浜市はとても広く、学校数、児童生徒数が多いため様々なことを考慮しなくてはならず判断が難しいということでしたが、6月19日の神奈川新聞1面には専門家から次のような指摘がされていました。

「各校に委ねるのではなく、教育委員会が判断したほうがよい」

「休校を決める権限は最終的には学校にある」と前置きした上で、▽台風はゲリラ豪雨と比べて被害が広範囲に及ぶ▽新型コロナウイルスの感染拡大時のように、周辺校の判断を気にして対応が横並びになる恐れがある一ことを挙げ、児童生徒の安全を脅かさないために「被害を俯瞰できる教育委員会が判断し、一律に指示した方がよい」と説いた。

また、車で午前8時ごろに登校したにもかかわらず「直後に休校となり大雨の中親子で登校し、災害に巻き込まれる危険性があった」ご家庭もあったと報じられていました。

	河川氾濫 1級河川などの 大規模な氾濫	大雨 低地の浸水や 大規模な土砂災害	土砂災害 急傾斜地の崩壊や 土石流	高潮 海岸部の浸水や 堤防の決壊による浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!＞					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

「警戒レベル4危険警報」が出された際には「危険な場所から全員避難」となり、「学校は休校となる」というのが横浜市の判断基準ですが、警報が発令されていないと登校となってしまうことから、このような事態となりました。

今後、横浜市としての見直し案が出されることと思います。その際には、「風水害・地震等に対する登下校対応マニュアル」を再度見直す必要があるかもしれません。

いずれにしても、「命より大切なものはない」を基準に、本校児童及び教職員の安全を第一に考えていきます。ご理解とご協力をお願いします。

土曜参観・引き取り訓練

5月23日（土）5校時に、震度5強以上の大地震を想定した引き取り訓練を行いました。今回は、校庭へ避難した後、各教室に戻り、保護者の皆様へお子様を引き渡すという、いつもとは少し違った形での訓練となりました。子どもたちは「お（押さない）・か（かけない）・し（しゃべらない）・も（戻らない）」の約束をしっかりと守り、落ち着いて行動することができました。

また、先日は台風の影響により、大雨や土砂災害の危険が高まり、休校の対応をとることもありました。こうした状況を踏まえると、大地震に限らず、さまざまな場面で保護者の方への引き取りが必要になる可能性も考えられます。今回の訓練は、そのような場合に備える大切な機会となりました。

当日は2・3校時に授業参観もあり、お忙しい中ではありましたが、多くの保護者の皆様にご参加いただきました。温かいご協力に心より感謝申し上げます。ぜひご家庭でも、いざという時の避難の仕方や連絡の取り方について、お子様と一緒に話題にしていただけるとありがたいです。



ブロック交流会

5月29日（金）、岩崎小学校体育館で桜台小学校の個別支援学級のみなさんとの交流会を行いました。はじめの会では、岩崎小学校が進行役を務め、「岩崎クイズ」を出題しました。子どもたちはそれぞれの役割をしっかりと果たし、協力して会を進めることができました。交流活動では、桜台小学校のみなさんが「進化じゃんけん」の赤白帽子を使って楽しめるように工夫したゲームを紹介してくれました。桜台小学校は岩崎小学校の約2倍の人数だったため、岩崎小の子どもたちには、できるだけたくさん桜台小学校の友達とじゃんけんをするよう声をかけました。最初は少し緊張した様子も見られましたが、「〇〇です。よろしくお願いします。」と自己紹介をしてからじゃんけんをする姿がたくさん見られました。交流を重ねる中で笑顔も増え、楽しく活動することができました。他校の友達との関わりを通して、コミュニケーションの力や相手を思いやる気持ちを育む貴重な機会となりました。



5年生 愛川宿泊体験学習

6月8日（月）、9日（火）、5年生は愛川ふれあいの村へ体験学習に行きました。

『㊦安全に楽しく、㊩いっぱい笑顔、㊧かかわりを増やそう、㊨わすれられない思い出を！

『愛川2026』をスローガンに、およそ1か月かけて準備を進めてきました。自分たちで出来ることを考え、一人ひとりが実行委員としての役割を果たしました。

1日目は、服部牧場（乳しぼり・餌やり体験）とレインボープラザ（藍染め体験）で選択活動をしたり、ふれあいの村で村内ウォークラリーをしたりして、初めての体験に、夢中になって活動している姿が見られました。夜には、火を囲みながらキャンプファイヤーを楽しみました。

2日目は、雨の影響でプログラムが変更しましたが、あいかわ公園で遊んだ後に、歩いて宮ヶ瀬ダムに行き、ダムの大きさを実感しました。少し緊張していたインクラインも、友達と一緒に乗ることで、素敵な景色に出会うことができました。仲間とともに楽しい時間を作り上げた経験や、友達と協力して取り組んだ経験を胸に、今後の学校生活に生かしてほしいと思います。



6年生 歴史博物館

6月5日（金）、6年生は横浜市歴史博物館へ社会科見学に行ってきました。保土ヶ谷駅に集合し、電車に乗って向かいました。竪穴住居に実際に入ったり、博物館に展示されているたくさんの資料をじっくり見たりしました。屋外の遺跡見学では、集中してガイドさんのお話を聞き、熱心にメモを取る姿が多く見られました。「昔の暮らしを知ることで、今の暮らしがより鮮明に見える。」歴史学習のめあてを一人ひとりが意識して、社会科見学に臨むことができました。また、公共のルールを守り、周りを見て行動する高学年らしい姿も見られました。

